

EX STAGE”,”レイヤードの大魔王”

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
セナ	あー、疲れたー。 おにーさん、助手が帰ったよ、 コーヒー出してー。
アナテマ	私のセナ。 雇い主に対して、 その態度はどうなのでしょう？
セナ	創造主に反逆したお前に 態度のこと言われたくないね。 仕事はしてるし。
セナ	ってわけで例の『小特異点』、 調査続行中ですよー。 また新しいの見つかった。
アナテマ	想定していた以上の数です。 深刻な事故は発生していませんが、 無視はできない状況かと。
セナ	てか頑張って探すよね、おにーさん。 ラザロおねーさんにも 頼まれたとはいえさー。
アナテマ	……ええ。 とても執念を感じますね、 私のセナ。
セナ	僕は別にどーでもいんだけどね、 一応仕事だからさ。 ……ん？
	//AR通信
ミアラカ	——先生。 先生、おられますか。 この声が聞こえていますか。
セナ	こいつ……。 確か、おにーさんの仲間の……。
ミアラカ	先生…… 残念なお知らせです。 オルタナステージは——
ミアラカ	——このサービスは、 本日で終了となります。 このミアの手で……！
セナ	……………。 どっかで聞いた台詞だね、 アナテマ。
アナテマ	……さあ。 私は新鮮な初耳ですが、 急いだほうがいい予感ですねえ。
	■渋谷 一宮下公園ー
セナ	さて、アクセスがあったのは この辺り—— わ、見ておにーさん。
コロソーン	URRRR…… オマエラ、キアイヲ入レロ！ 大魔王ノオンマエダ！
Dバラム	御意。 魔王に勝利を！

Dパイモニア	我らが王に栄誉を！
セナ	マガマガシーのがワラワラいる。 アナテマ、やっぱりお前の フォロワーじゃないの？
アナテマ	むき苦しいのは好みではありません。 アレの目論見かと思えますよ、 私のセナ。
セナ	アレ？
ミアラカACT	くーくっく。 集まりなさい、闇のACT達…… このミアの元へ……。
ミアラカ	アストラル・ミアよ、 成果はどーかつ。 重畳であるかつ！
ミアラカACT	アッシャー・ミア、 上々ですつ。 我が軍は圧倒的ですつ。
セナ	うわあ……。 もしかしてこれも、『小特異点』による 制御エラー……暴走？
ミアラカACT	我々こそが大魔王にして大いなる獣、 レイヤードに終末をもたらす者！ 革命の日は近いですよー！
ミアラカ	むっふっふ……。それでこそ我が分霊。 これだけの軍勢なら、先生にも 対抗できますね！
アナテマ	……。制御エラーと言いますか、 思いきりACTとユーザーが シンクロしているような……。
ミアラカACT	む……。来ましたか先生、 我らがバンデモニウムに。
ミアラカ	ほうほう、さすがは先生。 怖じ気づかずにやってきたことを 誉めてさしあげましょー……。ですが！
コロソン	今ノミアハ、自分ノACTト 完全ニシンクロシタ、 大イナル獣！
Dバラム	ミアこそが、我らの王！ レイヤードを支配する、 闇の大魔王なのだ！
セナ	……。濃いね。 呪いとか大魔王とか、ガキかよって 思うよね、おにーさん。
アナテマ	なぜこちらを見ながら 言うのでしょうか、セナ。
ミアラカACT	ふふんっ。 ネタじゃありませんし、 暴走とは違いますよー、先生。
ミアラカ	そです。ACTの私の言う通り、 私は私の意思で彼女と一緒に、 レイヤードを制するつもりですッ！
セナ	……。おにーさん、 こいつアーダルも 発症してんじゃない？
ミアラカACT	だったらいいですねえ。 ACTが暴れるだけですみますから—— 食らいなさいっ！
アナテマ	！！
セナ	な……。逃げろ、アナテマッ！
アナテマ	……。セナ！？
セナ	いってー、つまづいたッ。 ポケっとしないでよアナテマ！ それでも元ラスボス！？
アナテマ	……。 貴方は、またしても。

ミアラカACT	ほほーん。 セナちゃんは、とっさの瞬間だと ACTを助けちゃうんですね。
ミアラカ	陰キャコドモに見えて 中身は飛んだお人好しですねえ。 むふふふつ……。
セナ	あ、ACTと並んで ヤラしー目で見るとな。 おにーさんもなんか言ってよ！
アナテマ	——体を張ってACTを守る。 そんな刑事を見たことがありますか、 人は余計な概念ばかり継承しますねえ。
ミアラカ	……………。 全員がそうなれば、 世の中も変わるはずなんです。
セナ	ああ？
ミアラカ	私も諦めてないんですよ。 だから悪魔を率いてでも、 世界を変えちゃうんです……！
ミアラカ	やりなさい、もうひとりの私っ！ その人を本気にさせなさいッ！ 英雄を倒してこそ真の魔王ですっ！
ミアラカACT	らじやーです、私！
セナ	お、おいつ、 問答無用かよ！？

話者	台詞 / ト書き
	//ミアラカACTとバトル
ミアラカACT	我が名はミアラカ、 大魔王の半身にしてアストラル体。 深淵に触れたるアートマンなりです！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一宮下公園■
ミアラカACT	うぎ……ぎぎぎぎぎっ！ 先生……どうして……。
ミアラカ	どうして、先生……。 どうして……。
ミアラカ	どうして、まだ、 強いんですか！ なんで今も強いんですかッ！？
セナ	な、なにこいつら……？ どーいう言いがかり？
ミアラカ	先生が私よりも断然強かったら、 世界がピンチにならないでしょっ！
アナテマ	……なるほど。 確かに、本気のようなですねえ。
セナ	どーいうこと、アナテマ？ こいつらのオカルト思考が読めるの？
アナテマ	オカルトとは、隠された知識のこと。 彼女達の願望は見え透いていて 隠しようがありませんよ、私のセナ。
ミアラカACT	知ったふーなことを言わないください、 敗れたラスボスの分際でッ！
アナテマ	ラスボスだったからわかることも、 敗れたからこそ、浮かぶ背もあれ。 私も結構こじれてましたからねえ。
アナテマ	貴方の大魔王宣言は、演出でしょう。 世に危機をもたらし、彼女――。
アナテマ	『ヒロイン』が、もう一度 必要になる世界。 悪の在る世を体現するための。
セナ	『ヒロイン』って…… あの、おにーさんが使ってた？
ミアラカ	……そですよ。 私の大切なお姉ちゃんです。
ミアラカACT	先生とお姉ちゃんがいてくれたから 私は、自分の『好き』を 信じられたんです……。
セナ	だからって…… あんたが悪役になったからって、 戻ってくるとは限らないじゃん。
ミアラカ	他の方法が思いつかないんですよっ！ それにミアとミアのACTは 感じたんです、お姉ちゃんを。
アナテマ	感じた、とは……？ もしや、『小特異点』のことですか？
ミアラカ	なんなのかはどーでもいんです。 でもミアは、いろんなところで お姉ちゃんを感じるんです……。

ミアラカ	歩いてると、胸がギュッてなって、 立ち止まると、顔がボカボカして。 考えると、お腹がシクシクするんです。
セナ	フワフワしてるなあ…… つまりはなに？
ミアラカ	わかんないですよっ！ 言葉にできないんです、 私が知らない『言葉』なんです！
セナ	僕に怒るなよ……。 言いたいことはわかったけど、 多分あんた、ラスボス向いてないって。
ミアラカ	むう……？
セナ	もういなくなった相手が大好きで、 おにーさんのことも人間もACTも オカルトも全部好きなんでしょ？
セナ	そんなに世の中大好きなヒトが、 世の中嫌えるわけないじゃん。 おにーさんもわかってると思うよ。
ミアラカ	う……。 だけど……。 でも、それでも、ミアは……。
アナテマ	……………。
ミアラカ	好きなもんは好きだから。 意地でもまた会いたいですっ……。 だって、お姉ちゃんですもん！
ミアラカ	先生はミアと違うんですか！？ どして諦めてんですか。 なんで、平気な顔してんですかっ！
選択肢A	// 選択肢 A 諦めてなんていない B 平気なんかじゃない 諦めてなんていない
ミアラカ	へっ……。？ 諦めてない？
ミアラカ	先生も……。同じなんですか？ なにがなんでも、 また会いたいです……。？
選択肢B	平気なんかじゃない
ミアラカ	え……。っ。
ミアラカ	じゃあ、先生もやっぱり、 諦めてないんですか……。？ ひとりで、なににも言わないで……。
合流	
ミアラカ	先生はもしかして……。 探してるんですか？ もう一度会う方法を……。
ミアラカ	だから今もトラブルシューターで、 ACT使いとして戦い続けて……。 今も、強いんですか？
セナ	……。おにーさん。
ミアラカ	そう……。ですよ。ね。 誰も諦めてないですもんね。 ムツキさんも、そでしたし。
ミアラカ	ごめんなさい、先生。 私も、アストラルなミアも、 焦りすぎてました……。
ミアラカ	先生なら。 先生と私達が諦めないなら、 きっとなんとかなりますよね！
アナテマ	……………。

ミアラカ	よーし、うんうん。 だったらミア、前向きになりますっ。 大魔王として希望を持ちますよー！
セナ	大魔王宣言は 撤回しないんすか……。
ミアラカ	えへへ、ミアは多感な靈感少女で 本物のエンパーですから。 愛され系大魔王にもなっちゃります！
ミアラカ	そんでどっちのミアも、 先生の希望をお助けしてみせますっ。 んねー、アストラルな私っ。
ミアラカACT	そですね、アツシャーな私っ。 ミアは魔界を代表して、 先生の上もべになりますっ！
セナ	はいはい、好きにして。 大魔王でも大いなる獣でも なんでもいーから。
ミアラカ	むふふ、なんか元気出てきました。 ミアも、もっと自分を鍛えとかないと お姉ちゃんに怒られちゃいますね。
ミアラカ	それじゃ先生、今日は失礼しますっ。 帰るよ、
ミアラカACT	シャンバラ魔王軍のみんなー。 行儀よく歩くんですよー！
コロゾン	……URRR。 ミア、ヤッパリ笑顔が可愛い！
Dバラム	同意。 笑顔、最カワ！
Dパイモニア	ハレル・ミアラーカ！
ミアラカ	ばいばい先生、 大好きですよー！ セナちゃんもばいばーいっ！
セナ	今回も騒がしかったね……。 おにーさんの知り合い、 濃すぎて多すぎ。
セナ	にしても、僕はよく知らないけど 本当に愛されてたんだね、 あのヒロインさん。
アナテマ	そのようですね。 私に歯向かい、世界を救った英雄の ACTですから。
アナテマ	そして、彼女は――。
アナテマ	イオン＝ミルナは、 私の運命が殺したのですよ、 私のセナ。
セナ	……。
アナテマ	……さあ、帰りましょうか。 食事がまだでしたからね。
セナ	ま、待てよアナテマ。 ったく……おにーさん、 帰ったらすぐご飯ね！
	■渋谷ーテラスデッキー
コウヘイ	やっと落ち着いたか…… ミアも全力でぶつからないと 納得できない子だからなあ。
テルミ	あの子や彼と一緒にいた ACT使いはみんなそーだよ。 あたしもあんま頭は良くないしね。
コウヘイ	バカだからってより 信念があるって感じだけど？ いいほうに解釈すれば。
テルミ	バカでいーよ、あたしらみたいのは 懲りないだけだから。 ――で、姫はどうだって？
コウヘイ	だいが進んだみたいだよ。 ゴールにはまだ ほど遠いみたいだけどね。
テルミ	……そ、ありがと。 いいよ、遠くても。 近づいてさえいれば。

テルミ	あの子の想いに、 近づくことさえ、できれば……。
-----	-----------------------------